

## 1. テーマ「リメイク」について

### a. モチーフ選び

- 衣服やアクセサリ、ぬいぐるみ、廃棄物、メディア等、作品ごとにオリジナリティある「リメイクの場面」が描かれていて、その想像力の多様性に驚きました。と同時にその表現からは自分の価値観を表現しようと努力している姿が読み取れて、大変好感が持てました。
- イラストレーションはいわゆる「絵画」と違って、伝えたい事柄を明確にわかりやすく表現することが大切です。そのためにはモチーフがおおよそ決まったところ、タブローに取り掛かる前のアイデア段階で、下絵の構成や表現技法を十分に練り上げましょう。テーマを多角的に考え、キャラクターやモチーフへの思いをしっかりと掘り下げ、自分の表現意図（作品を通して伝えたいこと）を探求していく過程を大切にすると、より洗練された作品になってくると思います。

### b. 画面構成（レイアウト）について

- 先にも述べた通り、「リメイク」というテーマにどのようにアプローチするか、各々が創意工夫している様子が伺えました。さらにより良い画面構成にするためには最初のイメージスケッチが描いたら、それをもとに画面構成の違う下絵を数種描くなどして自分のイメージを深めていく必要があります。
- 独創的で感動的な画面づくりのためにドローイングやイメージスケッチなどもたくさん描いて自分の表現意図に合う画面構成を追求すると良いです。また、作品から多様なストーリーが読み取れるなど、観る人の想像力をかき立てる画面づくりも心がけてください。

## 2. 表現技法について

- 前回と比べて普段からデジタル描画に馴染んでいる作者が増えてきているように感じました。特に今回は、パターンやテクスチャ等の貼り付けやレイヤ効果の活用など、前回と比べてデジタル描画の特質を生かした作品が多くなったように感じました。レイヤ効果の活用などはデジタル表現ならではの特徴です。しっかりと試行錯誤し活用法を深めていくことが重要です。
- デジタルで描画する際にはアプリや機材が似たものになるので、ネットに溢れている様々な作品と類似した作品になりやすいものです。デジタルの描画ではアプリや機材をどう使いこなすか、作者の創意工夫がとても大切になります。SNSやYouTubeを参考にしている方も多いと思いますが、自分の知識・技術として十分に噛み砕き、自分にしかできない表現を追求してください。

## 3. 募集規定について

- 画像のサイズ、置き方、解像度などに指定がありましたが、特に規定通りのサイズ（300dpi、A4タテ）になっていないものが多くありました。募集要項をよく読み、特にデジタルで描画する際には最初の段階で「キャンバスサイズ」などを間違いなく設定しましょう。また、出品の際には再度確認を行いましょう。